



町の文化活動に親しむ
町民文化祭

11月10日、11日 公民館

2日間にわたり町民文化祭が行われ、無形文化財の上名寄郷土芸能や下川小中学校による吹奏楽演奏、大正琴演奏、ギター演奏などの音楽発表や舞踊、フラダンスなどの地元文化活動の発表が行われました。芸能発表の中には、カラオケ愛好会がスコップを三味線に見立て演奏するなど、とてもユニークな発表もありました。その他にも、陶芸や木工芸などの作品展示やお茶会なども開かれ、参加者は様々な文化活動に親しみました。



交通安全防犯町民大会

11月19日 バスターミナル合同センター



交通安全や防犯の意識を向上させることを目的とし、交通安全の指導員や優良運転者に対する表彰のほか、「管内の犯罪発生状況等について」と題し、名寄警察署生活安全課の櫻澤一人課長に上川管内の犯罪の現状に関する講話をいただきました。大会の最後には大会宣言が行われ、参加者は交通安全や防犯の重要性を改めて再確認しました。

幼児センター発表会

11月17日 幼児センター



1歳から6歳児までの各クラスにより、うたの発表や楽器演奏、劇の発表など20以上の発表が行われました。「一寸法師」や「ブレイメンの音楽隊」などの親しみの深い題材の発表や、音が鳴る手袋をはめ、たたいた音で音楽を奏でる「フィンガータップ」などのユニークな発表も行われ、来場者は子ども達の一生懸命がんばる姿にあたたかい拍手を送っていました。

持続可能な社会を目指し
「暮らしのエッセンス」講演会

11月9日 コモレビ



エシカル（倫理的）な消費生活や持続可能な社会を意識した行動を考えることを目的に、エシカル協会代表理事の末吉里花氏、僧侶の松本紹圭氏を招き講演していただきました。末吉氏からは自分自身の消費生活が知らないうちに環境や生物を脅かしているということをお話いただき、売られている物の背景も考え、地域や環境に配慮した消費生活を心掛けることの大切さを学びました。松本氏からは理想のリーダーシップ論をお話いただき、人はだれしも不安や恐れを持つが、それをさらけ出すことが大切であるということをお話いただきました。

また、下川中学校2年生の授業の一環で、「消費生活と環境」をテーマに末吉氏が講師を務め、生徒達はエシカル消費の大切さを学びました。

森の寺子屋発表会

11月10日 コモレビ



森の寺子屋では、町民が新しく「挑戦したいこと」について、外部アドバイザーも含めた参加者と共にどうしていくべきか議論していく場として5月から半年間月1回の頻度で行われてきました。今回今年の締めくくりとして成果発表が行われ、11人が発表を行い、鹿肉加工や森の幼稚園の展開、地消地産に向けた農作物展開など、幅広い分野における「チャレンジ」が発表されました。

「未来世代に私たちが今できること
～将来を見据えた備え方～」講演会

11月6日 ハビネス



講演会では、人と組織と地球のための国際研究所代表の川北秀人氏に、町の人口や財政などの状況をふまえ、人口減少や高齢化などのこれからの直面する問題について説明していただきました。未来世代の活躍できる環境づくりや、住民自治組織の重要性をふまえた理想の公区のあり方など、町の現状や未来予測をうけ、これからどうあるべきか参加者とともに考えました。